

## 観心寺の梅が見頃を迎えています

～楠木正成ゆかりの古刹・観心寺の梅～

楠木正成ゆかりの寺で知られる観心寺では、梅の見頃を迎える。観心寺の境内には梅の木が約300本あり、例年、紅梅、白梅、しだれ梅などいろいろな梅が参拝者を楽しませています。



▲3月6日撮影

なお、観心寺では3月3日からお彼岸までの期間限定（なくなり次第終了）で、白あんと青梅の甘露煮が入った梅どらの販売（1個200円）もされます。



梅の本数 約300本 / 見頃 3月初旬～3月下旬 / 時間 9:00～16:30

入山料 300円、小中学生100円(宝物館入館料含む)/駐車場 無料150台

アクセス 南海高野線 or 近鉄長野泉「河内長野駅」からバス「観心寺」下車徒歩すぐ

※昭和9年に国の史跡に制定された檜尾山観心寺は楠木正成が学問を学んだ寺と伝えられ、南朝の後村上天皇が正平14年(1359)に行在所として政務を執った寺としても知られている。また、境内の金堂は南北朝期の建物で、昭和27年に国宝に指定されています。

問い合わせ 観心寺（電話 0721-62-2134）

